# 令和4年度 事業報告書

#### I. 法人の運営状況

・当法人は、幼保連携型認定こども園あいいくの丘の運営を行っている。また、丹波市からの 委託を受け竹田・前山の両アフタースクールを運営している。

令和4年度は、前年度と比較して年間を通じて0歳児が特に多かったことにより、資金収支面において安定した運営ができた。

(参考までに記す:社会福祉充実残額は約△91,110千円)

- ・職員の処遇改善について、公定価格の加算等により改善に努めた。
- ・職員の資質向上について、全職員を対象に講師を外部招聘し、意識向上研修を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、丹波市からの補助を活用し必要な備品や用品を購入 し感染症対策を実施した。

### Ⅱ. 認定こども園あいいくの丘

- (1) 利用定員 125名 (1号認定児 15名 、2号・3号認定児 110名)
- (2) 保育日数 2・3号認定児293日(内希望児土曜保育51日) 1号認定児208日
- (3) 令和4年度園児数

						令和 4	年度	在園	児数						
1 号認定	年齢	認定区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	3 歳児	教育標準	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	4 歳児	教育標準	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	5 歳児	教育標準	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	75
	小	計	15	15	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	183
2.3号認定	O歳児	標準時間	3	3	3	4	4	6	7	7	9	9	9	9	73
		短時間	1	2	2	2	3	4	6	6	6	6	6	6	50
	1 歳児	標準時間	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141
		短時間	10	10	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	130
	2 歳児	標準時間	7	9	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	110
		短時間	13	12	13	13	14	12	11	11	11	11	11	11	143
	3歳児	標準時間	13	14	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	174
		短時間	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	111
	4 歳児	標準時間	18	19	19	20	20	20	20	20	19	18	18	18	229
		短時間	10	10	10	9	10	10	10	10	11	11	11	11	123
	5 歳児	標準時間	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	110
		短時間	10	10	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	103
	小	計	116	119	118	119	122	127	129	129	131	129	129	129	1, 497
	合	計	131	134	134	135	138	142	144	144	146	144	144	144	1, 680

#### (4) 職員数

- ・令和 4年 4月 1日・・・51名 事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士(給食室主任) 1名、看護師1名、保育教諭21名、保育士8名、保育補助2名、栄養士2名、調理師 1名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員6名
- ・令和 5年 3月31日・・・53名 事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士(給食室主任) 1名、看護師1名、保育教諭22名、保育士9名、保育補助2名、栄養士1名、調理師 2名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員6名

### (5) 行事

月	主要業務事項					
4	2. 入園・進級式、保護者会総会(中止) 8. 竹田・前山小学校入学式(祝電のみ)					
1	18~28 家庭訪問(個別懇談に変更実施)					
5	9. 花まつり 16.30 内科健診 18. 指導主事による園内研修 25. さつまいものつるさし					
	※大原まつり(神事のみで行事なし)					
6	1. 丹波市巡回相談 5. しょうぶまつり(たいよう組希望者) 7~9. 中学生トライやる					
0	12. 奉仕作業 16. 歯科健診 17. オープン参観・引き渡し訓練					
7	1. プール開き 3. 奉仕作業 15. チャレンジ保育 19. 総合避難訓練 26. 夏のお楽しみ会					
	1号認定児夏休み(8/1~8/31)					
8	12. サッカー教室 21. 丹波市就職フェア ※プール参観(中止)					
9	4. 奉仕作業 7. 交通安全教室 8. ぶどう狩り 9. 巡回相談 22. 入園説明会					
	1. 運動会 7. にじ組バス遠足 12. つき組バス遠足 13. ほし組バス遠足					
10	15. ひかり組・たいよう組バス遠足 18. 総合避難訓練 24. いもほり 24・31. 内科健診					
27. 丹波市就学時健診 ※竹田祭り(中止)						
11	2. オープン参観 9. ひかり組ムッレファイナル 10. たいよう組親子遠足 11. 収穫祭					
	16. 養父市巡回相談 17. つき組クニュータナファイナル 18. たいよう組ムッレファイナル					
12	3. あいいくフェスタ Part1 13. もちつき会 14. 福知山市巡回相談 16. 人形劇鑑賞 (劇団バク)					
	21. 養父市巡回相談 23. クリスマス会 29. 1 号認定児冬休み					
1	6. 新年おめでとう会、七草がゆ 11. どんと焼き					
	1. 豆まき会 4. あいいくフェスタ Part2 9. 巡回相談 14. 入園説明会 16. しいたけ菌打ち(ひかり組)					
2	   18. 法人職員研修会(外部講師)   22·24. 竹田前山小学校体験登校・入学   28. 竹田前山小学校説明会					
	※福知山市立各小学校事前保育参観、引継ぎ					
	6. 兵庫県・丹波市指導監査 7. お別れ会 8. 武庫川女子大学より福祉施設訪問実習 2 名					
3	17. 卒園・修了式 20. 1 号認定児春休み					

※週・月間行事・・・絵本貸し出し、誕生会、英語あそび、かがくタイム、避難訓練 交通・安全教室 ※年間行事・・・・ムッレ・クニュータナ教室 (春・秋)、クッキング保育、5歳児検診 野菜の栽培・収穫・クッキング、小学校との交流、地域との交流

※実習受入状況・・・武庫川女子大学との連携事業「丹波市ソーシャルワーカー実習 I 」 3 月 8 日 2 名

#### (6) 保健衛生

月	主要業務事項(園行事等)				
5	16·30. 内科健診 10. 検尿検査				
6	16. 歯科健診				
9	※未就園児健康講座(中止)				
10	24・31. 内科健診 ※たいよう組親子対象歯科指導 (中止)				
2	14. 入園進級説明会において看護師より健康講話、5歳児手洗い指導				

- ※ 月1回:身体計測 週1回:清潔検査(爪、髪) 随時:希望保護者との健康相談
- ※ 体調不良児 166名
- ※ 職員健診 5月末~3月末 全員受診
- ※ 職員インフルエンザ予防接種
- ※ 新型コロナウイルスワクチン接種4月以降個別接種へ
- ※ 7月薬剤師により環境調査、3月コロナ感染症対策について来園

### (7)食育活動(給食室)

月	主要業務事項
4	19. 食材ウオッチング 22. 誕生日会
5	13. 食材ウオッチング 17. たいよう組よもぎパン作り 25. さつま芋のつるさし
6	10. 誕生日会 21. 食材ウオッチング
7	7. 誕生日会 11. 食材ウオッチング
8	19. 誕生日会
9	9. 誕生日会 28. たいよう組クッキング
10	18. 食材ウオッチング 21. 誕生日会 24. 芋ほり
11	4. 誕生日会 11. 収穫祭 16. 食材ウオッチング
12	3. フェスタ用クッキー作成 13. 餅つき大会 23. クリスマス誕生日会
1	6. 七草がゆ 12. 誕生日会 18. 食材ウオッチング
2	2. 豆まき 15. 誕生日会 31. たいよう組クッキークッキング 21. 食材ウオッチング
3	3. ひな祭り誕生会 7. お別れ会リクエストメニュー 8. 食材ウオッチング

※ 3色群分け 食事のマナー指導 給食献立掲示 アレルギー対応

### (8) 特別支援

対象園児7名・・・コーディネーター 1名、加配保育教諭7名-

## (9) 認定こども園運営の概要

#### ①保育·教育

・新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、発生状況及び行政からの通知等を確認し ながら日々の保育及び行事の改善を行った。

- ・園の目標である「五感で四季の移り変わりを感じ、自然と共にたくましく育つ子」を常に 意識し、コロナ対策を取りながらの活動となった。またネットワーク会議等において密に ならない活動方法等を模索しながら野外活動の充実に努めた。
- ・幼児期から児童期における教育の連続性・一貫性を大切にし、「学びの芽生え」を培うべく、 園内研修において「人と関わる力」、「生活する力」、「学ぶ力」の三つの柱を掲げたカリキ ュラムを作成し、日々の保育の充実に励んだ。
- ・園が子ども達にとって楽しく、居心地のいい場所であることを常に意識し、子ども達の興味や関心、発達状況等にふさわしい環境構成を基本にしつつ、保育活動や給食時等の密を さける環境に努めた。
- ・子どもたちの「なぜ?どうして?」を大切に、科学の楽しさを実感させることで「筋道を 立てて考える力」や「自分で問題解決する力」を育むことを目的として、外部講師による 「かがくタイム」を新たに導入した。(月1回)
- ・卒園児の令和4年度の入学先は、丹波市4校、福知山市6校の合計10校であったが、年度 当初から各小学校と連携を図り、子ども達がスムーズに小学校生活を送れるよう配慮した。 また、転居等により他園に転園する園児に対しても情報交換や指導要録の送付等を行った。
- ・各種団体の方々との交流について、新型コロナウイルス感染症予防対策のためほとんどの 交流を中止せざるをえなかったが、里山会の方との椎茸の菌打ちを行うことができた。
- ・アレルギー対応について、看護師及び管理栄養士の指導の下で職員全員が情報共有することができている。
- ・食育活動として野菜の栽培の成長観察を行ったが、感染予防対策の観点から、昨年度と同様に、自分で触れたものだけを口にすることに配慮したクッキングを行った。また、秋に実施している収穫祭についても、昨年度と同じく収穫した野菜を調理室で調理し、4・5歳児はマイラップでおにぎりを作って昼食とする方法で実施した。
- ・感染症については、新型コロナウイルス感染症予防対策として消毒や換気、マスクの着用 等を徹底したことにより、季節性インフルエンザが流行ることはほぼなかった。
- ・支援の必要な園児、保護者に対しては、コーディネーターを中心に関係機関との連携を図 るとともに園内においても支援方法について検討し、最適な支援を行った。
- ・令和4年度は、新卒者1名、中途1名を採用することで、職員体制を充実させることが出来た。また、丹波市の補助事業を活用し保育補助者や給食支援者を任用することで、職員の業務負担軽減につなげることが出来た。
- ・新型コロナウイルス感染の対応について、看護師を中心に迅速に対応して感染予防に努め、 卒園式等も予防策を講じながら実施した。(保護者席の間隔等)

#### ②職員研修

- ・丹波市教育委員会より講師として指導主事を派遣いただき、全クラス公開保育研修を行い、 保育の資質向上に努めた。
- ・丹波市のキャリアップ研修以外の研修に関しては、Web開催での研修が多く、新人研修、 保育教諭研修、調理師研修、主幹保育教諭研修、園長研修等、それぞれの職務に適した研 修をオンラインで受講し個々の資質向上に努めた。
- ・外部講師を招聘し、「社会人としての心構え」をテーマに研修を実施し、職員個々の意識改革・ 向上に努めた。

#### ③家庭との連携

- ・子ども達が初めて親元から離れ協同で生活する場であるということを重要視し、新入園児に対して、園児は元より保護者の方にも不安を感じさせることがないよう、きめ細やかな連携を図ることを心掛け、誠意をもって保護者対応を行った。進級児に対しても保護者の声には常に耳を傾け、また家庭での様子も把握しながら園と家庭との連携を大切にした。
- ・新型コロナウイルス感染症による登園自粛期間中の家庭に対しては、家庭での様子の確認 等により、登園再開後の不安が少しでも軽減するよう努めた。
- ・保護者の要望等に対しては内容をしっかり受け止めたうえで、全ての保護者に対して公平 であることを常に意識して対応することを心掛けた。
- ・各種たより、よい子ネット、ホームページを活用し、園での様子や子育て支援について の発信を迅速、的確に伝えることに努めた。

#### (10) 子育て支援室の開設

- 開催回数年 96 回、利用者数 492 名 (親子延べ人数)
  - ・新型コロナウイルス感染症予防対策で人数制限を行いながら、週2回「わくわくひろば」 を開催するとともに、電話や個人的に相談に応じる等の子育て支援事業を実施した。
  - ・保育体験として園行事への参加を呼びかけ、わくわくひろばで季節の行事を開催すると ともに、外部講師を招いて親子で参加可能な「リトミック遊び」を実施した。
  - ・2名のベテラン職員を配置し、子育てについて気軽に話せる場づくりを常に意識し、地域の未入園児家庭に対する情報発信を心掛け、月1回、「わくわく通信」を発行し、各戸配布した。
  - ・個人情報の関係もあり、地域の未入園児の把握が十分に出来ないため、子育て支援が受動的になってしまわないかが引き続き今後の課題である。

#### Ⅲ. アフタースクールの運営

- 竹田アフタースクール登録児童数 令和4年4月 25名 ・令和5年3月 28名
- 前山アフタースクール登録児童数 令和4年4月 12名 ・令和5年3月 15名
  - 下校後の児童が安らぐ環境を意識し、安全で規則正しい時間を過ごせるように配慮した。
  - ・個別支援の必要な児童に対して人員を配置し、個別支援を実施した。
  - ・長期化する新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため、消毒、換気の徹底及びマスク着用などの予防対策を行った。
  - ・小学校との連携を十分に取り、アフターでの児童の様子を見学してもらう機会を作った。

※月1回防災訓練の実施 ※指導員研修会参加(随時) ※保健衛生の講話(随時)